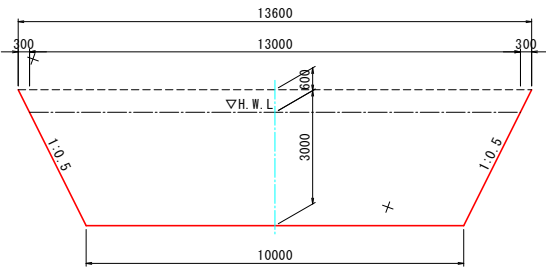


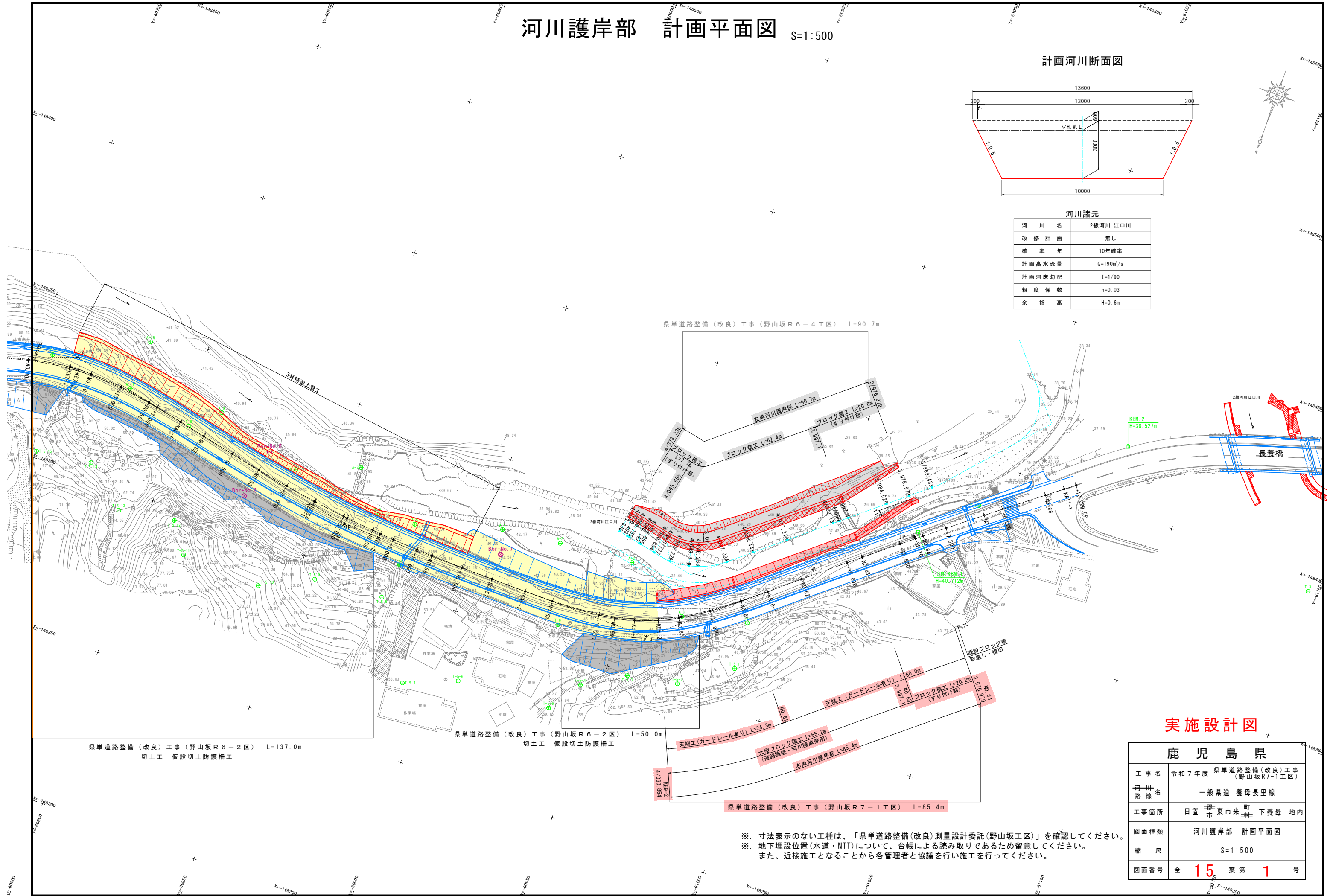
河川護岸部 計画平面図 S=1:500

計画河川断面図



河川諸元

河 川 名	2級河川 江口川
改 修 計 画	無し
確 率 年	10年確率
計画高水流量	Q=190m³/s
計画河床勾配	I=1/90
粗 度 係 数	n=0.03
余 裕 高	H=0.6m

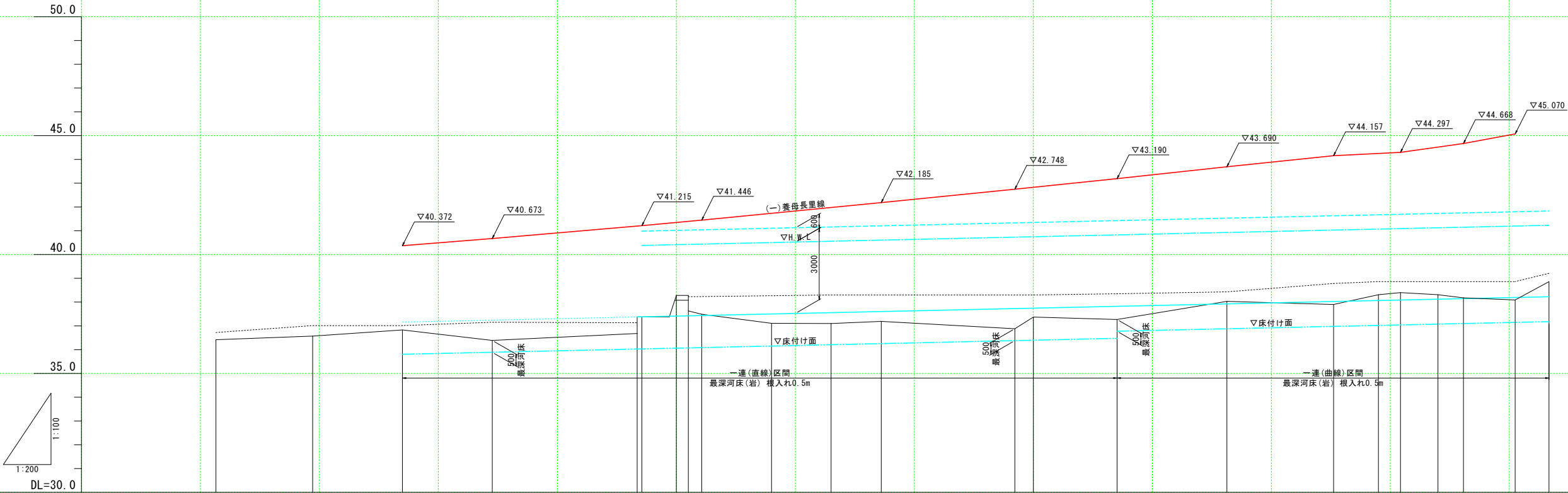


実施設計図

鹿 児 島 県	
工 事 名	令和7年度 県単道路整備(改良)工事 (野山坂R7-1工区)
河川名	一般県道 養母長里線
工事箇所	日置市 東市来町 下養母 地内
図面種類	河川護岸部 計画平面図
縮 尺	S=1:500
図面番号	全 15 葉 第 1 号

※. 寸法表示のない工程は、「県単道路整備(改良)測量設計委託(野山坂工区)」を確認してください。  
※. 地下埋設位置(水道・NTT)について、台帳による読み取りであるため留意してください。  
また、近接施工となることから各管理者と協議を行い施工を行ってください。

河川護岸部 河川縦断図 V=1:100, H=1:200



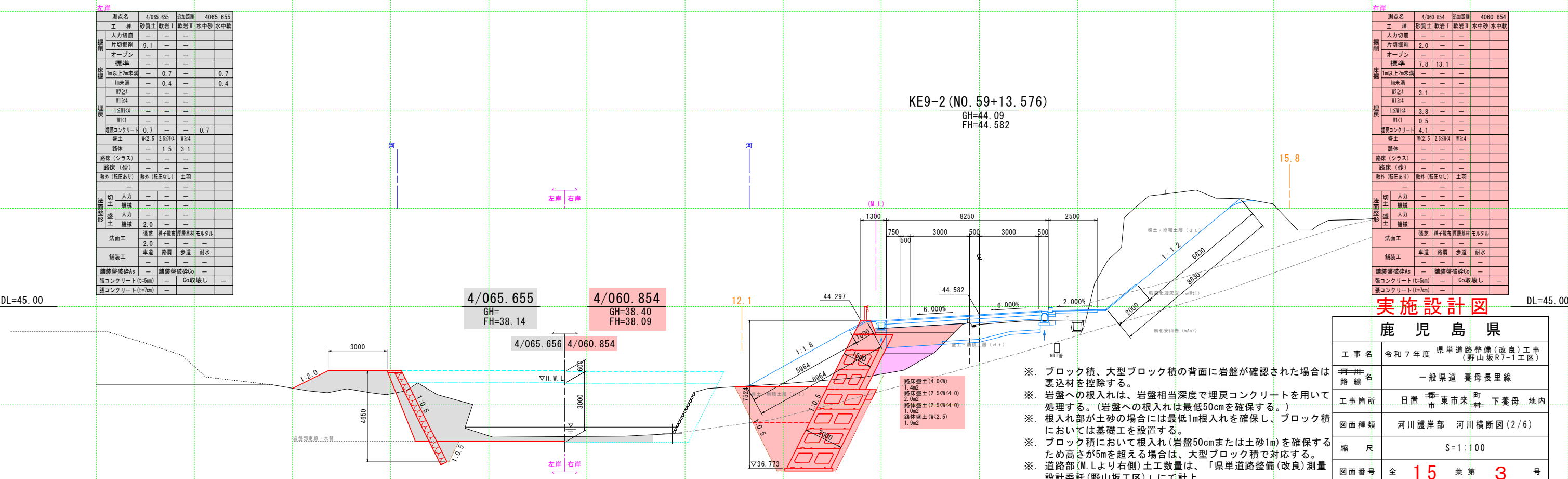
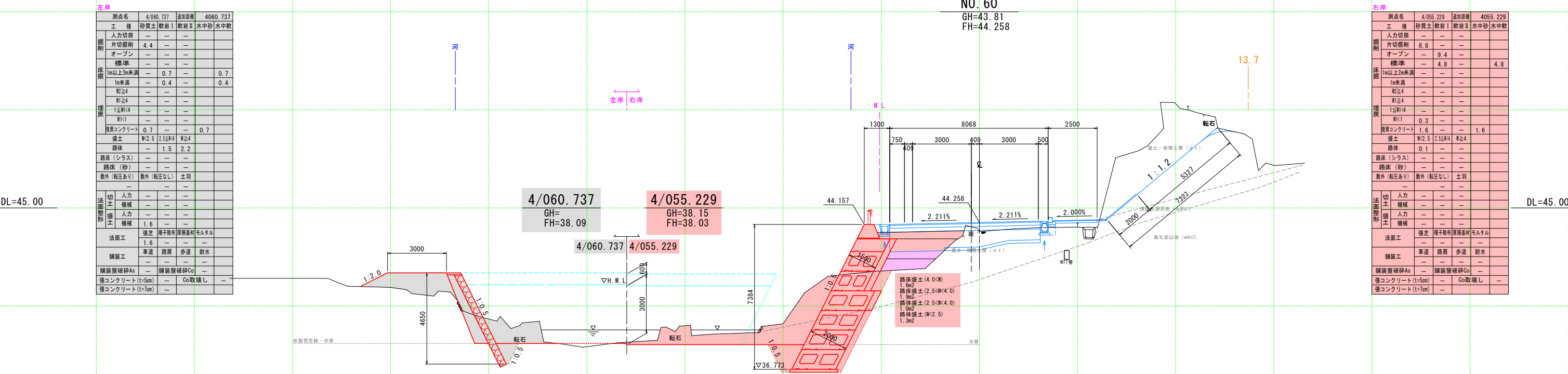
凡例	
路線計画路肩高	<span style="color: red;">—</span>
計画堤防高	<span style="color: blue;">---</span>
計画高水位	<span style="color: cyan;">—</span>
計画河床高	<span style="color: cyan;">—</span>
低水位	<span style="color: brown;">---</span>
最深河床高	<span style="color: black;">—</span>

計画河床勾配	<span style="color: black;">i=1/90</span>	
計画堤防高		
計画高水位		
計画河床高		
現況勾配	<span style="color: black;">i=1/89 L=101.7m</span>	<span style="color: black;">i=1/64 L=157.9m</span>
低水位		
最深河床高		
追加距離		
単距離		
測点		

実施設計図

鹿 児 島 県	
工 事 名	令和7年度 県単道路整備(改良)工事 (野山坡R7-1工区)
河川名	一般県道 養母長里線
工事箇所	日置市 東市来町 下養母 地内
図面種類	河川護岸部 河川縦断図
縮 尺	V=1:100, H=1:200
図面番号	全 15 葉 第 2 号

河川護岸部 河川横断図(2/6) S=1:100



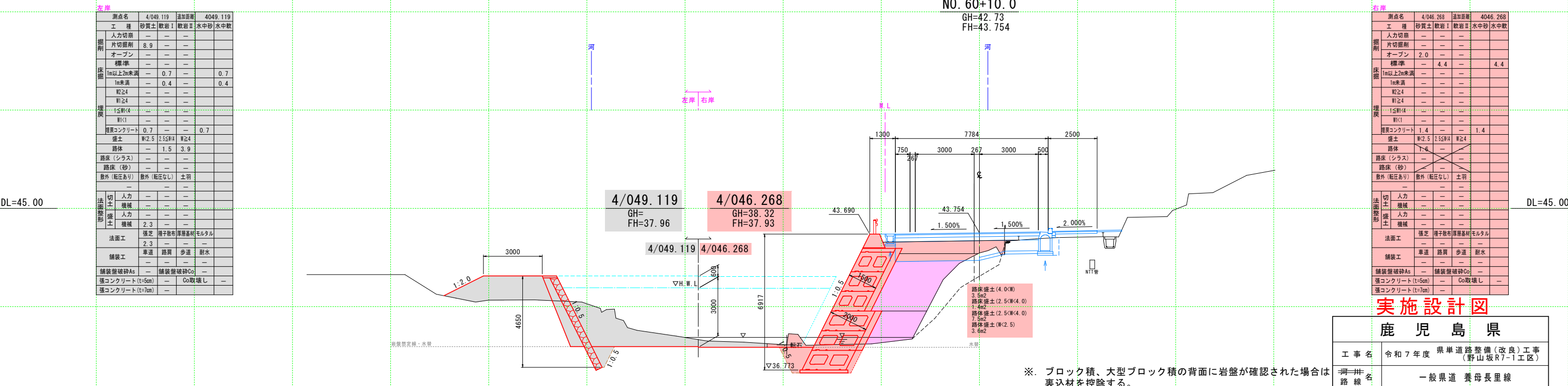
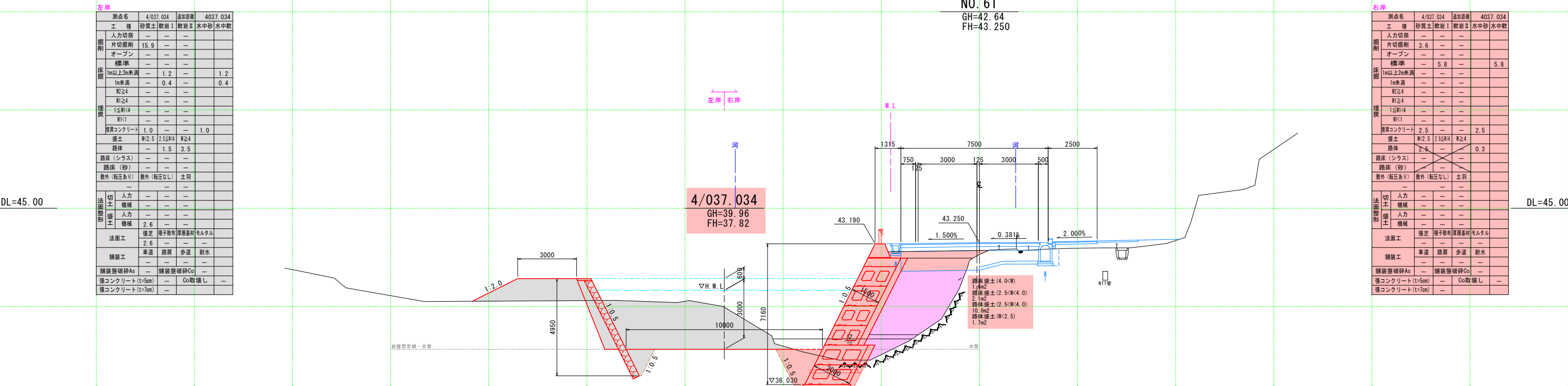
- ※. ブロック積、大型ブロック積の背面に岩盤が確認された場合は裏込材を控除する。
- ※. 岩盤への根入れは、岩盤相当深度で埋戻コンクリートを用いて処理する。(岩盤への根入れは最低50cmを確保する。)
- ※. 根入れ部が土砂の場合には最低1m根入れを確保し、ブロック積においては基礎工を設置する。
- ※. ブロック積において根入れ(岩盤50cmまたは土砂1m)を確保するため高さが5mを超える場合は、大型ブロック積で対応する。
- ※. 道路部(M.Lより右側)土工数量は、「県単道路整備(改良)測量設計委託(野山坂工区)」にて計上。

実施設計図

鹿児島県	
工事名	令和7年度 県単道路整備(改良)工事 (野山坂R7-1工区)
河川名	一般県道 養母長里線
工事箇所	日置市 東市来町 下養母 地内
図面種類	河川護岸部 河川横断図(2/6)
縮尺	S=1:100
図面番号	全 15 葉 第 3 号



河川護岸部 河川横断図(3/6) S=1:100



実施設計図

鹿児島県	
工事名	令和7年度 県単道路整備(改良)工事 (野山坂R7-1工区)
河川名	一般県道 養母長里線
工事箇所	日置市 東市来町 下養母 地内
図面種類	河川護岸部 河川横断図(3/6)
縮尺	S=1:100
図面番号	全 15 葉 第 4 号

- ※. ブロック積、大型ブロック積の背面に岩盤が確認された場合は裏込材を控除する。
- ※. 岩盤への根入れは、岩盤相当深度で埋戻コンクリートを用いて処理する。(岩盤への根入れは最低50cmを確保する。)
- ※. 根入れ部が土砂の場合には最低1m根入れを確保し、ブロック積においては基礎工を設置する。
- ※. ブロック積において根入れ(岩盤50cmまたは土砂1m)を確保するため高さが5mを超える場合は、大型ブロック積で対応する。
- ※. 道路部(M.L.より右側)土工数量は、「県単道路整備(改良)測量設計委託(野山坂工区)」にて計上。

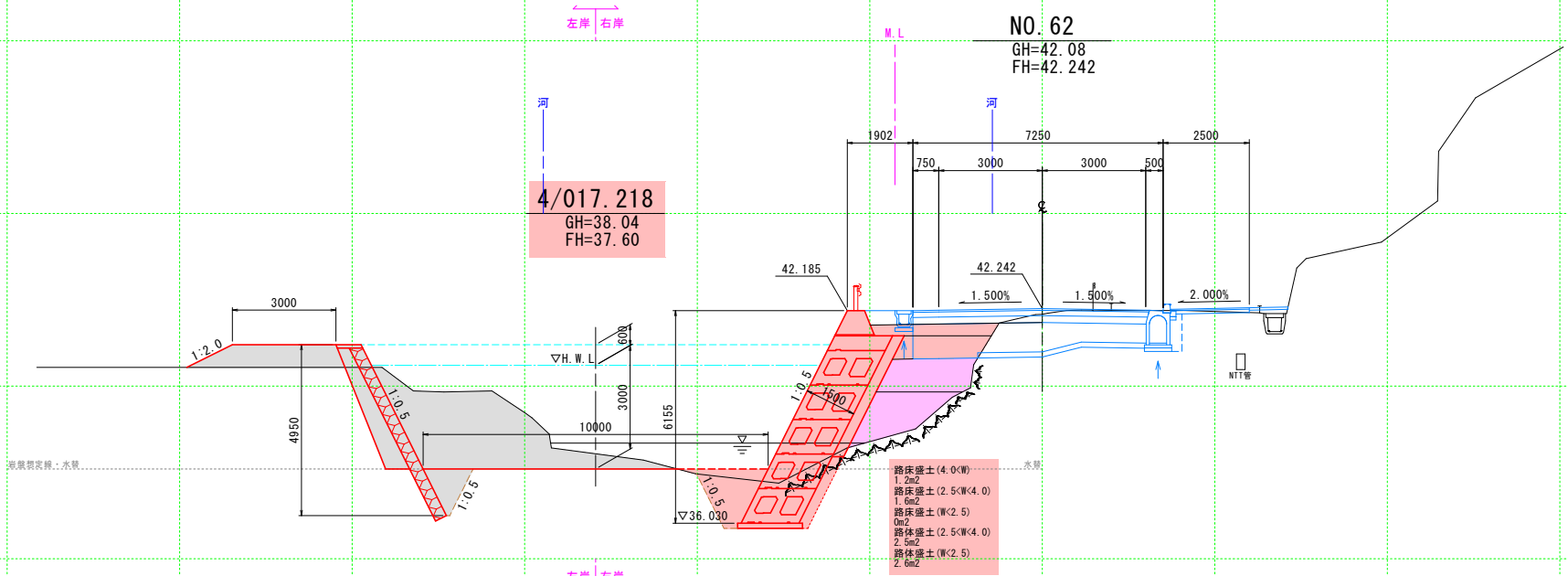
河川護岸部 河川横断図(4/6) S=1:100

左岸	測点名	4/017.218	追加距離	4017.218
	工種	砂質土	軟岩Ⅰ	軟岩Ⅱ
掘削	人力切削	—	—	—
	片切掘削	12.4	—	—
床掘	オープン	—	—	—
	標準	—	—	—
埋戻	1m以上2m未満	—	1.2	1.2
	1m未満	—	0.4	0.4
増築	W <sub>2</sub> ≥4	—	—	—
	W <sub>1</sub> ≥4	—	—	—
埋戻	1.5割(4)	—	—	—
	W(1)	—	—	—
埋戻	埋戻コンクリート	1.0	—	1.0
	盛土	W <sub>2</sub> 2.5 W <sub>4</sub> W <sub>2</sub> ≥4	—	—
路床	路床(シラス)	—	1.5	1.0
	路床(砂)	—	—	—
敷外	敷外(転圧あり)	敷外(転圧なし)	土羽	—
	—	—	—	—
法面整形	切土	人力	—	—
	盛土	人力	—	—
法面整形	切土	機械	—	—
	盛土	機械	—	—
法面整形	切土	1.5	—	—
	盛土	1.5	—	—
舗装工	強芝	種子散布	厚層基砂	モルタル
	—	—	—	—
舗装工	車道	路肩	歩道	耐水
	—	—	—	—
舗装工	舗装壁破砕As	—	舗装壁破砕Co	—
	—	—	—	—
強コンクリート	強コンクリート(t=5cm)	—	Co取壊し	—
	強コンクリート(t=7cm)	—	—	—

DL=40.00

★水

DL=40.00

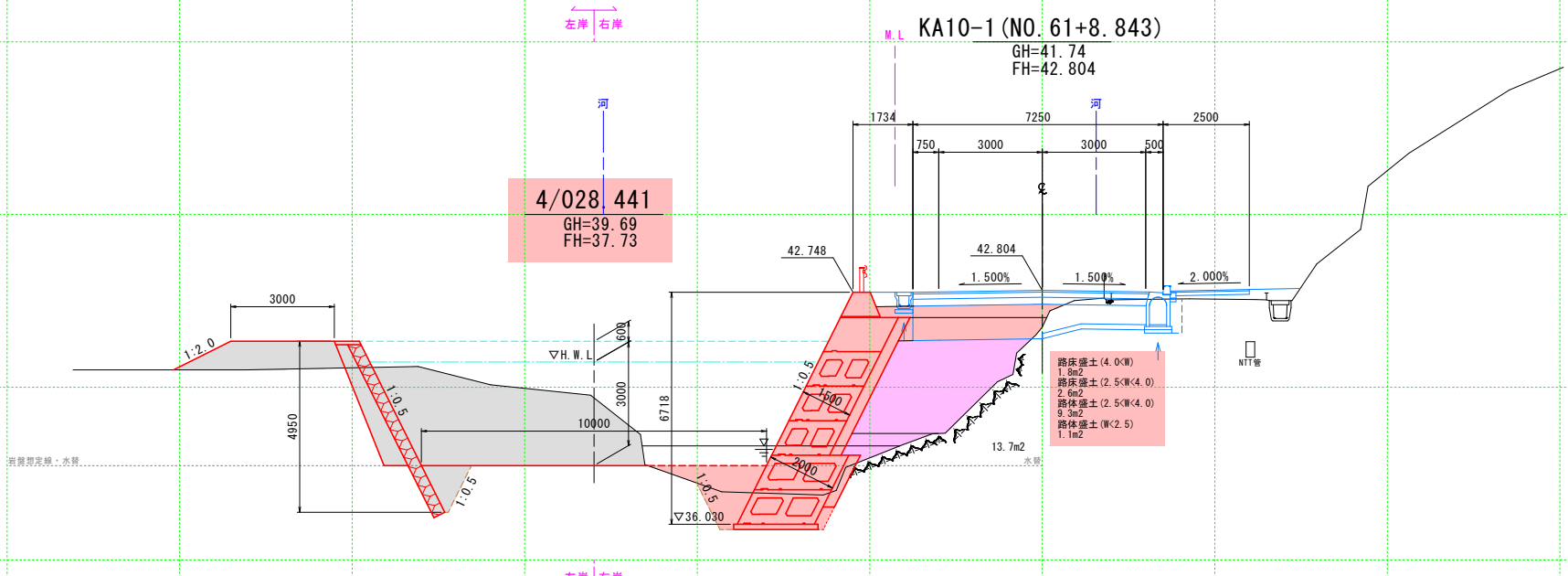


右岸	測点名	4/017.218	追加距離	4017.218
	工種	砂質土	軟岩Ⅰ	軟岩Ⅱ
掘削	人力切削	—	—	—
	片切掘削	0.6	—	—
床掘	オープン	—	—	—
	標準	—	4.5	4.5
埋戻	1m以上2m未満	—	—	—
	1m未満	—	—	—
増築	W <sub>2</sub> ≥4	—	—	—
	W <sub>1</sub> ≥4	—	—	—
埋戻	1.5割(4)	—	—	—
	W(1)	—	—	—
埋戻	埋戻コンクリート	1.7	—	1.7
	盛土	W <sub>2</sub> 2.5 W <sub>4</sub> W <sub>2</sub> ≥4	—	—
路床	路床(シラス)	—	2.4	—
	路床(砂)	—	—	—
敷外	敷外(転圧あり)	敷外(転圧なし)	土羽	—
	—	—	—	—
法面整形	切土	人力	—	—
	盛土	人力	—	—
法面整形	切土	機械	—	—
	盛土	機械	—	—
法面整形	切土	1.5	—	—
	盛土	1.5	—	—
舗装工	強芝	種子散布	厚層基砂	モルタル
	—	—	—	—
舗装工	車道	路肩	歩道	耐水
	—	—	—	—
舗装工	舗装壁破砕As	—	舗装壁破砕Co	—
	—	—	—	—
強コンクリート	強コンクリート(t=5cm)	—	Co取壊し	—
	強コンクリート(t=7cm)	—	—	—

DL=40.00

左岸	測点名	4/028.441	追加距離	4028.441
	工種	砂質土	軟岩Ⅰ	軟岩Ⅱ
掘削	人力切削	—	—	—
	片切掘削	16.5	—	—
床掘	オープン	—	—	—
	標準	—	—	—
埋戻	1m以上2m未満	—	1.2	1.2
	1m未満	—	0.4	0.4
増築	W <sub>2</sub> ≥4	—	—	—
	W <sub>1</sub> ≥4	—	—	—
埋戻	1.5割(4)	—	—	—
	W(1)	—	—	—
埋戻	埋戻コンクリート	1.0	—	1.0
	盛土	W <sub>2</sub> 2.5 W <sub>4</sub> W <sub>2</sub> ≥4	—	—
路床	路床(シラス)	—	1.5	1.8
	路床(砂)	—	—	—
敷外	敷外(転圧あり)	敷外(転圧なし)	土羽	—
	—	—	—	—
法面整形	切土	人力	—	—
	盛土	人力	—	—
法面整形	切土	機械	—	—
	盛土	機械	—	—
法面整形	切土	1.9	—	—
	盛土	1.9	—	—
舗装工	強芝	種子散布	厚層基砂	モルタル
	—	—	—	—
舗装工	車道	路肩	歩道	耐水
	—	—	—	—
舗装工	舗装壁破砕As	—	舗装壁破砕Co	—
	—	—	—	—
強コンクリート	強コンクリート(t=5cm)	—	Co取壊し	—
	強コンクリート(t=7cm)	—	—	—

DL=40.00



右岸	測点名	4/028.441	追加距離	4028.441
	工種	砂質土	軟岩Ⅰ	軟岩Ⅱ
掘削	人力切削	—	—	—
	片切掘削	2.0	—	—
床掘	オープン	—	—	—
	標準	—	3.8	3.8
埋戻	1m以上2m未満	—	—	—
	1m未満	—	—	—
増築	W <sub>2</sub> ≥4	—	—	—
	W <sub>1</sub> ≥4	—	—	—
埋戻	1.5割(4)	—	—	—
	W(1)	—	—	—
埋戻	埋戻コンクリート	1.1	—	1.1
	盛土	W <sub>2</sub> 2.5 W <sub>4</sub> W <sub>2</sub> ≥4	—	—
路床	路床(シラス)	—	2.4	—
	路床(砂)	—	—	—
敷外	敷外(転圧あり)	敷外(転圧なし)	土羽	—
	—	—	—	—
法面整形	切土	人力	—	—
	盛土	人力	—	—
法面整形	切土	機械	—	—
	盛土	機械	—	—
法面整形	切土	1.9	—	—
	盛土	1.9	—	—
舗装工	強芝	種子散布	厚層基砂	モルタル
	—	—	—	—
舗装工	車道	路肩	歩道	耐水
	—	—	—	—
舗装工	舗装壁破砕As	—	舗装壁破砕Co	—
	—	—	—	—
強コンクリート	強コンクリート(t=5cm)	—	Co取壊し	—
	強コンクリート(t=7cm)	—	—	—

DL=40.00

実施設計図

鹿児島県	
工事名	令和7年度 県単道路整備(改良)工事 (野山坂R7-1工区)
河川名	一般県道 養母長里線
工事箇所	日置市 東市来町 下養母 地内
図面種類	河川護岸部 河川横断図(4/6)
縮尺	S=1:100
図面番号	全 15 葉 第 5 号

- ※. ブロック積、大型ブロック積の背面に岩盤が確認された場合は裏込材を控除する。
- ※. 岩盤への根入れは、岩盤相当深度で埋戻コンクリートを用いて処理する。(岩盤への根入れは最低50cmを確保する。)
- ※. 根入れ部が土砂の場合には最低1m根入れを確保し、ブロック積においては基礎工を設置する。
- ※. ブロック積において根入れ(岩盤50cmまたは土砂1m)を確保するため高さが5mを超える場合は、大型ブロック積で対応する。
- ※. 道路部(M.Lより右側)土工数量は、「県単道路整備(改良)測量設計委託(野山坂工区)」にて計上。

$S=1:100$

DL=40.00DL=40.00DL=40.00DL=40.00

鹿 児 島 県

工 事 名	令和 7 年度 県単道路整備(改良)工事 (野山坂R7-1工区)
-------	-------------------------------------

河川 路線	一般県道 養母長里線
----------	------------

工事箇所 日置 ~~郡~~ 東市来 ~~町~~ 下養母 地

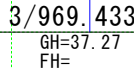
図面種類 河川護岸部 河川横断図(5/6)

縮尺	$S=1:100$
----	-----------

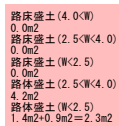
図面番号 全 15 葉 第 6 号

- ※ ブロック積、大型ブロック積の背面に岩盤が確認された場合は裏込材を控除する。
- ※ 岩盤への根入れは、岩盤相当深度で埋戻コンクリートを用いて処理する。(岩盤への根入れは最低50cmを確保する。)
- ※ 根入れ部が土砂の場合には最低1m根入れを確保し、ブロック積においては基礎工を設置する。
- ※ ブロック積において根入れ(岩盤50cmまたは土砂1m)を確保するため高さが5mを超える場合は、大型ブロック積で対応する。
- ※ 道路部(M.Lより右側)土工数量は、「県単道路整備(改良)測量設計委託(野山坂工区)」に計上。

$S=1:100$

DL=40.00

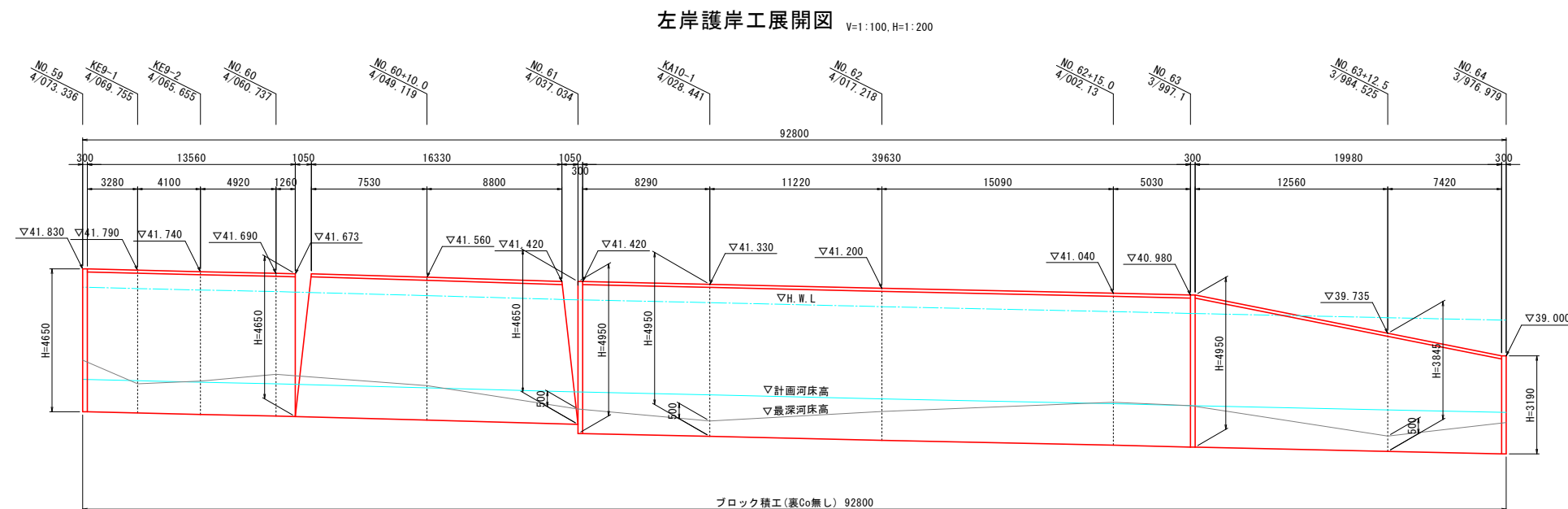
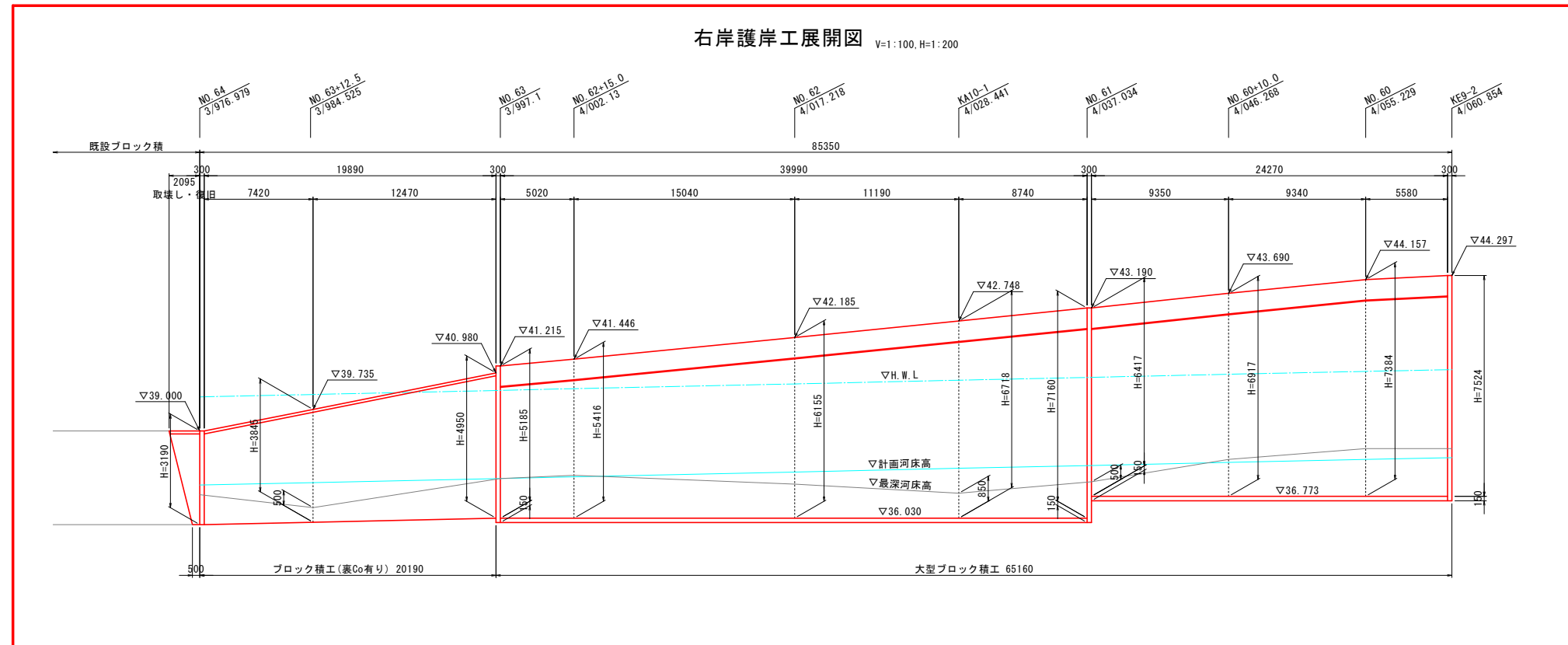
NO. 64+7.5  
GH=40.16  
FH=40.147

DL=40.00

- ※. ブロック積、大型ブロック積の背面に岩盤が確認された場合は裏込材を控除する。
- ※. 岩盤への根入れは、岩盤相当深度で埋戻コンクリートを用いて処理する。(岩盤への根入れは最低50cmを確保する。)
- ※. 根入れ部が土砂の場合には最低1m根入れを確保し、ブロック積においては基礎工を設置する。
- ※. ブロック積において根入れ(岩盤50cmまたは土砂1m)を確保するため高さが5mを超える場合は、大型ブロック積で対応する。
- ※. 道路部(M.Lより右側)土工数量は、「県単道路整備(改良)測量設計委託(野山坂工区)」にて計上。



## 河川護岸部 ブロック積工詳細図(1/7)

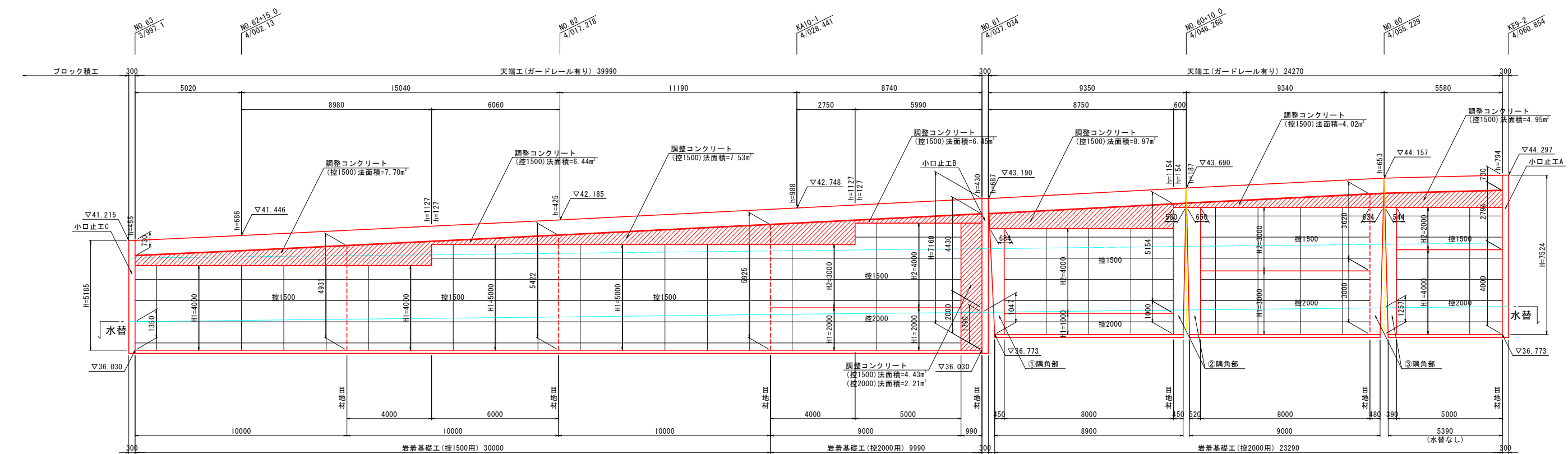


## 実施設計図

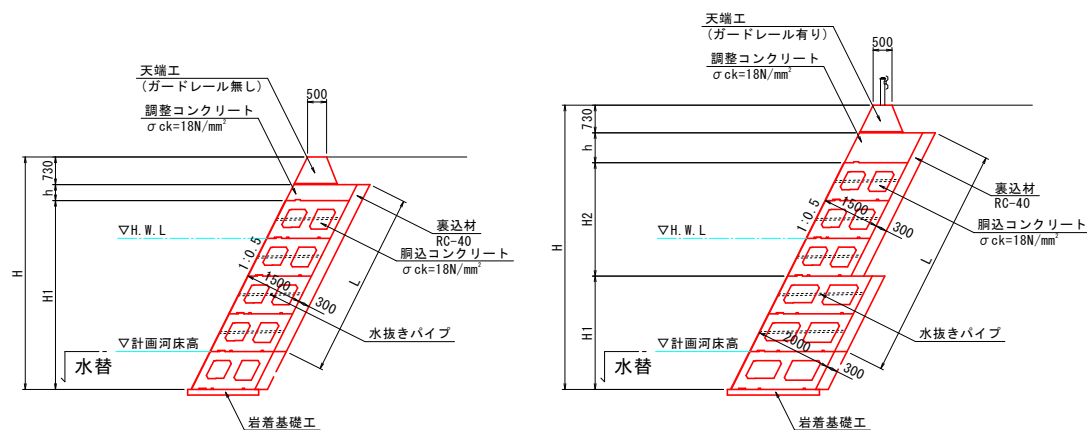
鹿 児 島 県	
工 事 名	令和7年度 県単道路整備(改良)工事 (野山坂R7-1工区)
<del>河川</del> 路 線 名	一般県道 養母長里線
工事箇所	日置 <del>市</del> 東市来 <del>町</del> 下養母 地内
図面種類	河川護岸部 ブロック積工詳細図(1/7)
縮 尺	図示
図面番号	全 15 葉 第 8 号



河川護岸部 ブロック積工詳細図(2/7) S=1:100  
右岸護岸工 大型ブロック積工(1/3)  
展開図



標準断面図



測点	裏込材 L
N0. 63 3/997. 1	3354
N0. 62+15. 0 4/002. 13	2795
N0. 62 4/017. 218	3913
KA10-1 4/028. 441	6136
N0. 61 4/037. 034	6071
N0. 60+10. 0 4/046. 268	5799
N0. 60 4/055. 229	4085
KE9-2 4/060. 854	3683

大型ブロック積工(全体) 数量表

名称	規格	計算式	1.0式当り	
			数量	単位
大型ブロック積	控1500	$(2.000 \times 5.000 + 3.000 \times (4.000 + 8.000) + 4.000 \times (10.000 + 4.000 + 5.000 + 8.000) + 5.000 \times (6.000 + 10.000)) \times 1.118$	= 261.612	261.6 m <sup>2</sup>
	控2000	$(1.000 \times 8.000 + 2.000 \times 9.000 + 3.000 \times 8.000 + 4.000 \times 5.000) \times 1.118$	= 78.260	78.3 m <sup>2</sup>
	計	261.612+78.260	= 339.872	339.9 m <sup>2</sup>
全体法面積	計	$339.872 + 17.42 + 7.70 + 6.44 + 7.53 + 6.45 + 8.97 + 4.02 + 4.95 + 4.43 + 2.21$	= 409.992	410.0 m <sup>2</sup>
胴込コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$1.276 \times 261.612 + 1.736 \times 78.260$	= 469.676	469.7 m <sup>3</sup>
裏込材	RC-40	$((3.354 + 2.795) / 2 + 5.020 + (2.795 + 3.913) / 2 + 15.040 + (3.913 + 6.136) / 2 + 11.190 + (6.136 + 6.071) / 2 + 8.740 + (6.710 + 5.799) / 2 + 9.350 + (5.799 + 4.085) / 2 + 9.340 + (4.085 + 3.683) / 2 + 5.580) \times 0.300$	= 89.631	89.6 m <sup>3</sup>
目地材	t=10mm	$(1.500 \times (4.931 + 5.422 + 5.925 + 4.430 + 5.154 + 3.620 + 2.794) + 2.000 \times (2.000 + 1.000 + 3.000 + 4.000)) \times 1.118$	= 76.487	76.5 m <sup>2</sup>
水抜きパイプ	$\phi 50$	$((1.750 \times 261.612 + 2.310 \times 78.260) - ((1.750 + 2.310) / 2 \times 93.247)) / 2$	= 224.655	224.7 m
天端工	ガードレール有り	$40.0 \times 24.3 = 64.3$	64.3	m
	ガードレール無し		0	m
岩着基礎工	控1500用		30.0	m
	控2000用	$9.990 + 23.290$	= 33.280	33.3 m
隅角部コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$		33.1	m <sup>3</sup>
隅角部型枠			38.0	m <sup>2</sup>
調整コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$1.500 \times (7.70 + 6.44 + 7.53 + 6.45 + 8.97 + 4.02 + 4.95 + 4.43) + 2.000 \times 2.21$	= 80.155	80.2 m <sup>3</sup>
調整型枠		$(7.70 + 6.44 + 7.53 + 6.45 + 8.97 + 4.02 + 4.95 + 4.43 + 2.21) \times 2$	= 105.400	105.4 m <sup>2</sup>
小口止工			3.0	箇所

※ 全体面積には、大型ブロック部法面積と隅角部、調整コンクリートの面積を含む。  
※ 1.118は、1:0.5の斜比である。

大型ブロック積工(水替) 数量表

名称	規格	計算式	1.0式当り	
			数量	単位
全体法面積		$((1.350 + 1.790) / 2 \times (30.000 + 9.990) + (1.047 + 1.257) / 2 \times (8.900 + 9.000)) \times 1.118$	= 93.247	93.2 m <sup>2</sup>
胴込コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$93.247 / 409.992 \times 469.676$	= 106.821	106.8 m <sup>3</sup>
岩着基礎工	控1500用		30.0	m
	控2000用	$9.990 + 23.290$	= 33.280	33.3 m
隅角部コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$((1.047 + 1.257) / 2 \times (0.450 + 0.450 + 0.520 + 0.480 + 0.390)) \times 1.118 \times 2.000$	= 5.899	5.9 m <sup>3</sup>
隅角部型枠		$((1.047 + 1.257) / 2 \times (0.450 + 0.450 + 0.520 + 0.480 + 0.390)) \times 1.118 \times 2$	= 5.899	5.9 m <sup>2</sup>
調整コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$1.790 + 0.990 \times 1.118 \times 2.000$	= 3.962	4.0 m <sup>3</sup>
調整型枠		$1.790 + 0.990 \times 1.118 \times 2$	= 3.962	4.0 m <sup>2</sup>
小口止工			3.0	箇所

※ 全体面積には、大型ブロック部法面積と隅角部、調整コンクリートの面積を含む。  
※ 1.118は、1:0.5の斜比である。

※ 大型ブロック積の背面に岩盤が確認された場合は裏込材を控除する。  
※ 岩盤への根入れは、岩盤相当深度で埋戻コンクリートを用いて処理する。  
(岩盤への根入れは最低50cmを確保する。)

実施設計図

鹿児島県	
工事名	令和7年度 県単道路整備(改良)工事 (野山坂R7-1工区)
河川名	一般県道 養母長里線
工事箇所	日置市 東市来町 下養母 地内
図面種類	河川護岸部 ブロック積工詳細図(2/7)
縮尺	S=1:100
図面番号	全 15 葉 第 9 号

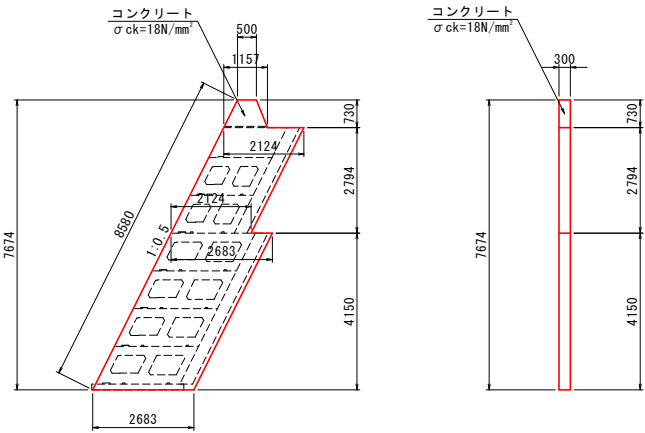
河川護岸部 ブロック積工詳細図(3/7) S=1:100

右岸護岸工 大型ブロック積工(2/3)  
小口止工B

小口止工A

側面図

正面図

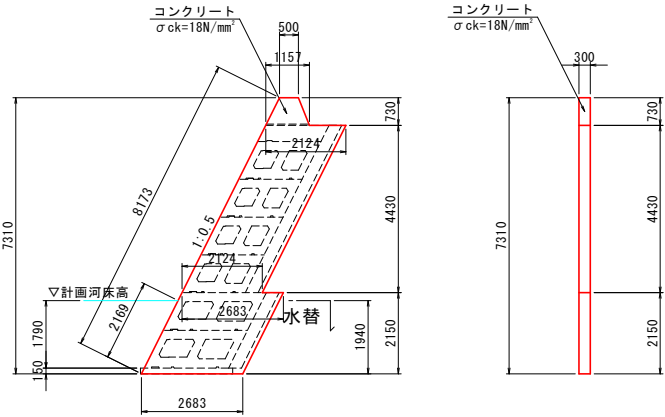


小口止工A(全体) 数量表

		1箇所当り	
名称	規格	計算式	数量 単位
コンクリート	σck=18N/mm2	$((0.500+1.157) \times 0.730 \times 1/2 + 2.124 \times 2.794 + 2.683 \times 4.150) \times 0.300$ = 5.302	5.3 m3
型枠		$((0.500+1.157) \times 0.730 \times 1/2 + 2.124 \times 2.794 + 2.683 \times 4.150) \times 2$ + 8.580 × 0.300 = 37.921	37.9 m2

側面図

正面図



小口止工B(全体) 数量表

		1箇所当り	
名称	規格	計算式	数量 単位
コンクリート	σck=18N/mm2	$((0.500+1.157) \times 0.730 \times 1/2 + 2.124 \times 4.430 + 2.683 \times 2.150) \times 0.300$ = 4.735	4.7 m3
型枠		$((0.500+1.157) \times 0.730 \times 1/2 + 2.124 \times 4.430 + 2.683 \times 2.150) \times 2$ + 8.173 × 0.300 = 34.017	34.0 m2

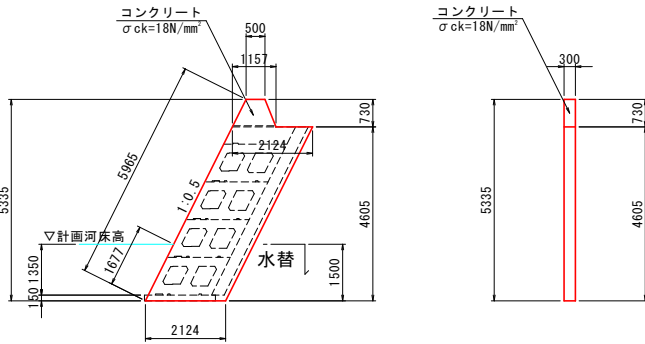
小口止工B(水替) 数量表

		1箇所当り	
名称	規格	計算式	数量 単位
コンクリート	σck=18N/mm2	$2.683 \times 1.940 \times 0.300$ = 1.562	1.6 m3
型枠		$2.683 \times 1.940 \times 2 + 2.169 \times 0.300$ = 11.060	11.1 m2

小口止工C

側面図

正面図



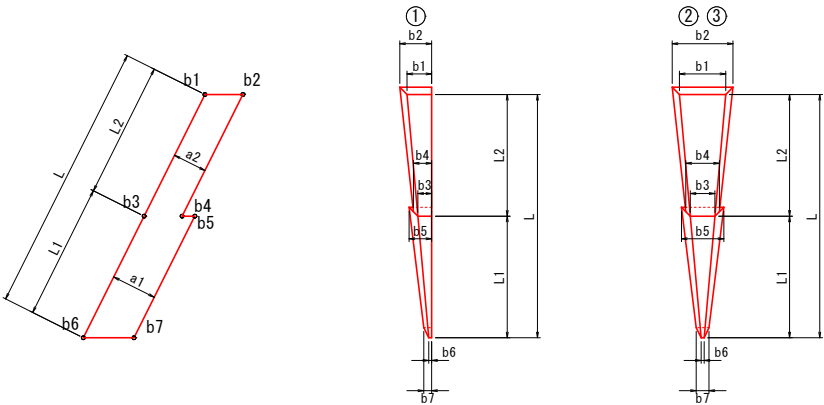
小口止工C(全体) 数量表

		1箇所当り	
名称	規格	計算式	数量 単位
コンクリート	σck=18N/mm2	$((0.500+1.157) \times 0.730 \times 1/2 + 2.124 \times 4.605) \times 0.300$ = 3.116	3.1 m3
型枠		$((0.500+1.157) \times 0.730 \times 1/2 + 2.124 \times 4.605) \times 2 + 5.965 \times 0.300$ = 22.561	22.6 m2

小口止工C(水替) 数量表

		1箇所当り	
名称	規格	計算式	数量 単位
コンクリート	σck=18N/mm2	$2.124 \times 1.500 \times 0.300$ = 0.956	1.0 m3
型枠		$2.124 \times 1.500 \times 2 + 1.677 \times 0.300$ = 6.875	6.9 m2

隅角部詳細図

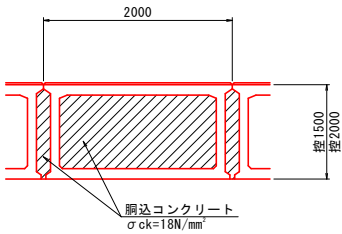


隅角部寸法及び材料表

1箇所当り														
番号	b1	b2	b3	b4	b5	b6	b7	a1	a2	L1	L2	L	コンクリート	表型枠
①	0.68	0.84	0.50	0.65	0.71	0.45	0.66	2.00	1.50	1.12	4.47	5.59	5.77	3.16
②	1.23	1.38	1.10	1.25	1.29	0.97	1.16	2.00	1.50	3.35	3.35	6.71	13.80	7.38
③	1.18	1.31	1.08	1.21	1.25	0.87	1.05	2.00	1.50	4.47	2.24	6.71	13.51	6.88
小計														17.42
合計													33.08	37.99

コンクリート = (b1+b2+b3+b4)/4 × a2 × L2 + (b3+b5+b6+b7)/4 × a1 × L1  
表型枠 = (b1+b6)/2 × L  
裏型枠 = (b2+b4)/2 × L2 + (b5+b7)/2 × L1

ブロック平面図



胴込量

		1m2当り
胴込コンクリート	控1500	1.276 m3
	控2000	1.736 m3

水抜きパイプ

		1本当り
水抜きパイプ長さ	控1500	1.750 m
	控2000	2.310 m

※. 大型ブロック積の背面に岩盤が確認された場合は裏込材を控除する。  
※. 岩盤への根入れは、岩盤相当深度で埋戻コンクリートを用いて処理する。  
(岩盤への根入れは最低50cmを確保する。)

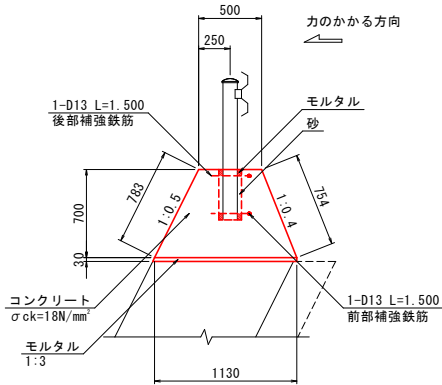
実施設計図

鹿児島県	
工事名	令和7年度 県単道路整備(改良)工事 (野山坡R7-1工区)
河川名	一般県道 養母長里線
工事箇所	日置市 東市来町 下養母 地内
図面種類	河川護岸部 ブロック積工詳細図(3/7)
縮尺	S=1:100
図面番号	全 15 葉 第 10 号

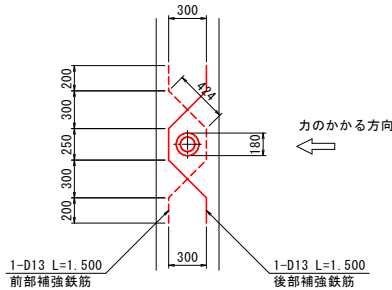
河川護岸部    ブロック積工詳細図(4/7)

右岸護岸工 大型ブロック積工(3/3)

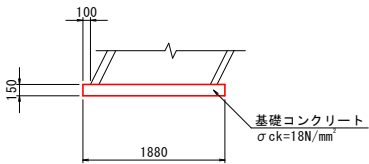
天端工(ガードレール有り)    S=1:30  
断面図



平面図



岩着基礎工    S=1:50  
控1500用



岩着基礎工(控1500用)    数量表

名称	規格	計算式	数量	単位
コンクリート	σck=18N/mm2	0.150*1.880*10.0 = 2.820	2.8	m3
型枠		0.150*2*10.0 = 3.000	3.0	m2
目地材	t=10mm	0.150*1.880 = 0.282	0.3	m2

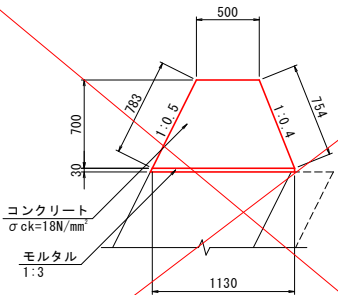
0.28m2/m

天端工(ガードレール無し)    数量表

名称	規格	計算式	数量	単位
敷モルタル	1:3	1.130*0.030*10.0 = 0.339	0.3	m3
コンクリート	σck=18N/mm2	(0.500+1.130)*0.700*1/2*10.0 = 5.705	5.7	m3
型枠		(0.783+0.754)*10.0 = 15.370	15.4	m2
目地材	t=10mm	(0.500+1.130)*0.700*1/2 = 0.571	0.6	m2
補強鉄筋	SD345 D13	1.50*0.995*2*(10.0/2.0) = 14.925	14.9	kg

0.57m2/m

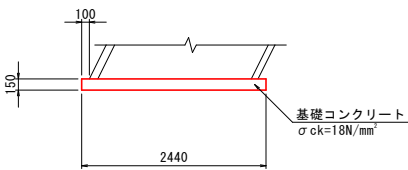
天端工(ガードレール無し)    S=1:30  
断面図



天端工(ガードレール無し)    数量表

名称	規格	計算式	数量	単位
敷モルタル	1:3	1.130*0.030*10.0 = 0.339	0.3	m3
コンクリート	σck=18N/mm2	(0.500+1.130)*0.700*1/2*10.0 = 5.705	5.7	m3
型枠		(0.783+0.754)*10.0 = 15.370	15.4	m2
目地材	t=10mm	(0.500+1.130)*0.700*1/2 = 0.571	0.6	m2

岩着基礎工    S=1:50  
控2000用



岩着基礎工(控2000用)    数量表

名称	規格	計算式	数量	単位
コンクリート	σck=18N/mm2	0.150*2.440*10.0 = 3.660	3.7	m3
型枠		0.150*2*10.0 = 3.000	3.0	m2
目地材	t=10mm	0.150*2.440 = 0.366	0.4	m2

0.37m2/m

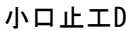
実施設計図

鹿 児 島 県	
工 事 名	令和7年度 県単道路整備(改良)工事 (野山坡R7-1工区)
河川・ 路 線 名	一般県道 養母長里線
工事箇所	日置 市 東市来 町 下養母 地内
図面種類	河川護岸部    ブロック積工詳細図(4/7)
縮 尺	図 示
図面番号	全 15 葉 第 11 号

※. 大型ブロック積の背面に岩盤が確認された場合は裏込材を控除する。  
※. 岩盤への根入れは、岩盤相当深度で埋戻コンクリートを用いて処理する。  
(岩盤への根入れは最低50cmを確保する。)

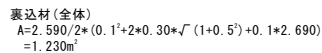
$S=1:100$

展開図

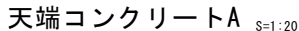
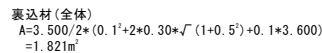


小口止工D(全体) 数量表

### 小口止工D(水替) 数量表



裹込材(水中)  
 $A=0.850/2 \times (0.1^2 + 2 \times 0.465 + 0.1 \times 0.850)$   
 $=0.436\text{m}^2$

天端コンクリートA

ブロック積工(全体) 数量表

※ 既設ブロック取壊しは別途計上。  
※ ブロック積には、既設ブロック復旧面積を含む。

ブロック積工(水替) 数量表

※ ブロック積には、既設ブロック復旧面積を含む。

※. ブロック積において根入れ(岩盤50cmまたは土砂1m)を確保するため高さが5mを超える場合は、大型ブロック積で対応する。

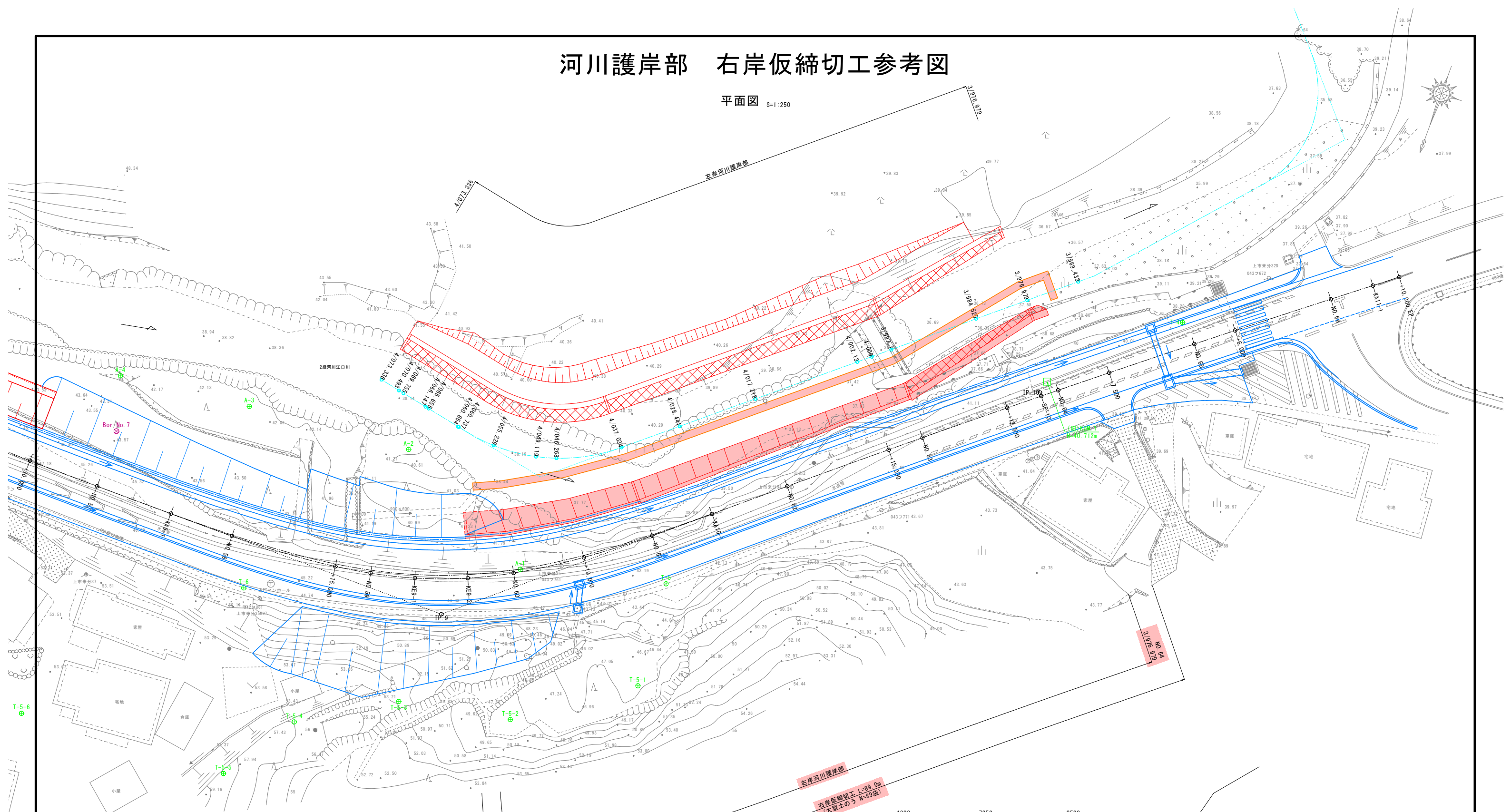
鹿 児 島 県

工 事 名	令和 7 年度 県単道路整備(改良)工事 (野山坂 R7-1 工区)
-------	---------------------------------------

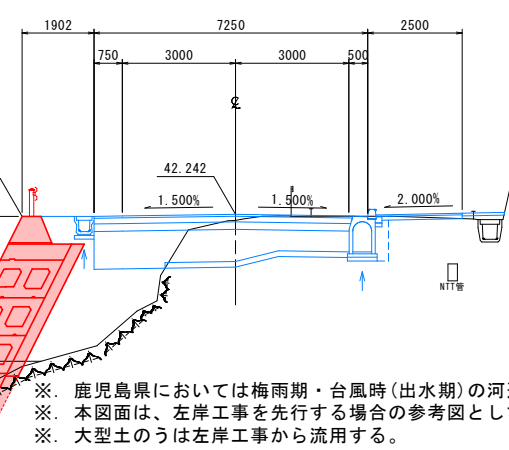


河川護岸部 右岸仮締切工参考図

平面図 S=1:250



横断面 S=1:100



右岸仮締切工 参考数量表

名称	規格	計算式	数量	単位
大型土のう	設置・撤去	左岸流用	89.0	袋

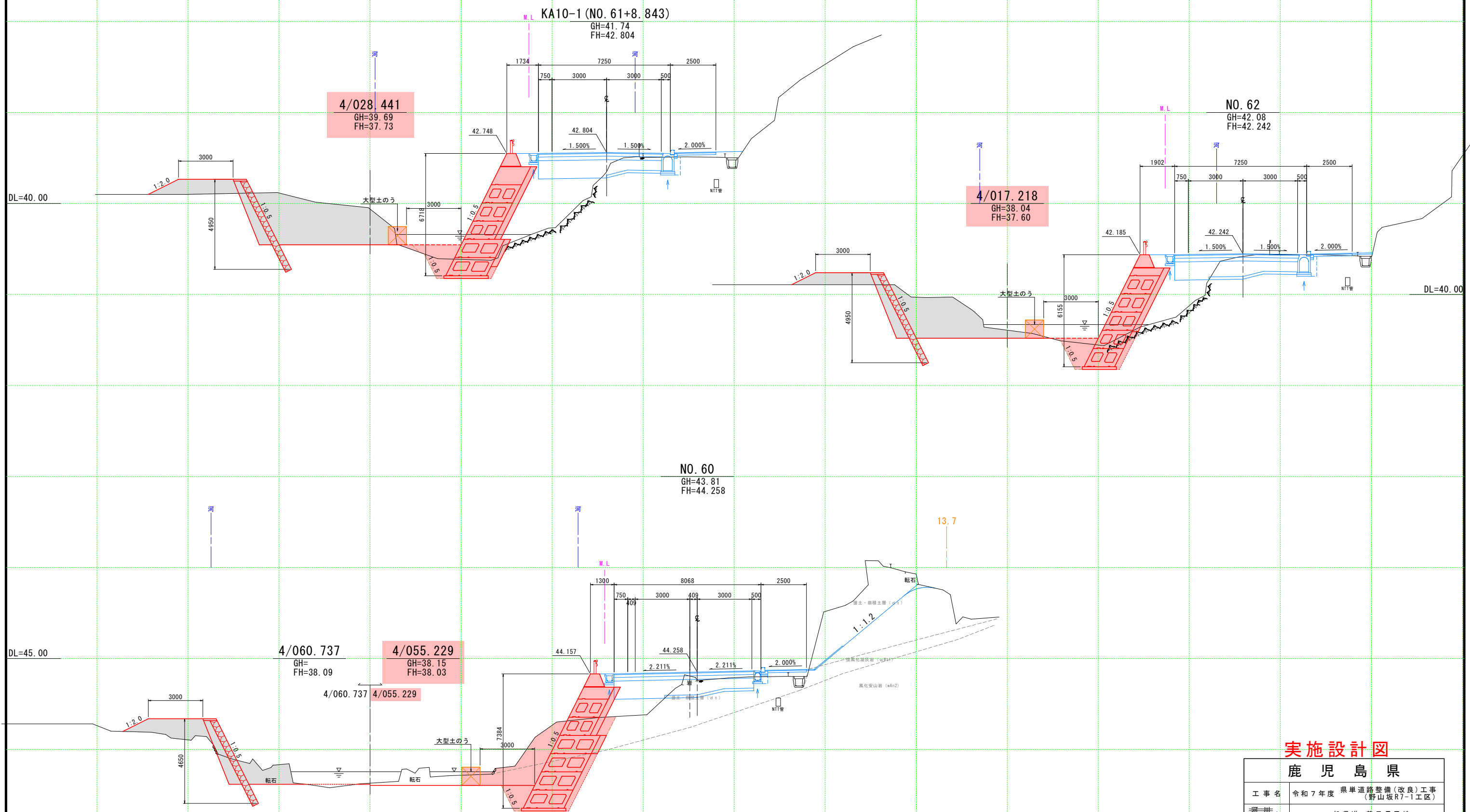
1箇所当り

※ 鹿児島県においては梅雨期・台風時(出水期)の河道内工事は原則禁止されている。  
※ 本図面は、左岸工事を先行する場合の参考図として示す。  
※ 大型土のうは左岸工事から流用する。

実施設計図

鹿 児 島 県	
工 事 名	令和7年度 県単道路整備(改良)工事 (野山坡R7-1工区)
河川名	一般県道 養母長里線
工事箇所	日置市 東市来町 下養母 地内
図面種類	河川護岸部 右岸仮締切工参考図
縮 尺	図示
図面番号	全 15 葉 第 13 号

河川護岸部 右岸仮締切工参考横断図(1/2) S=1:100

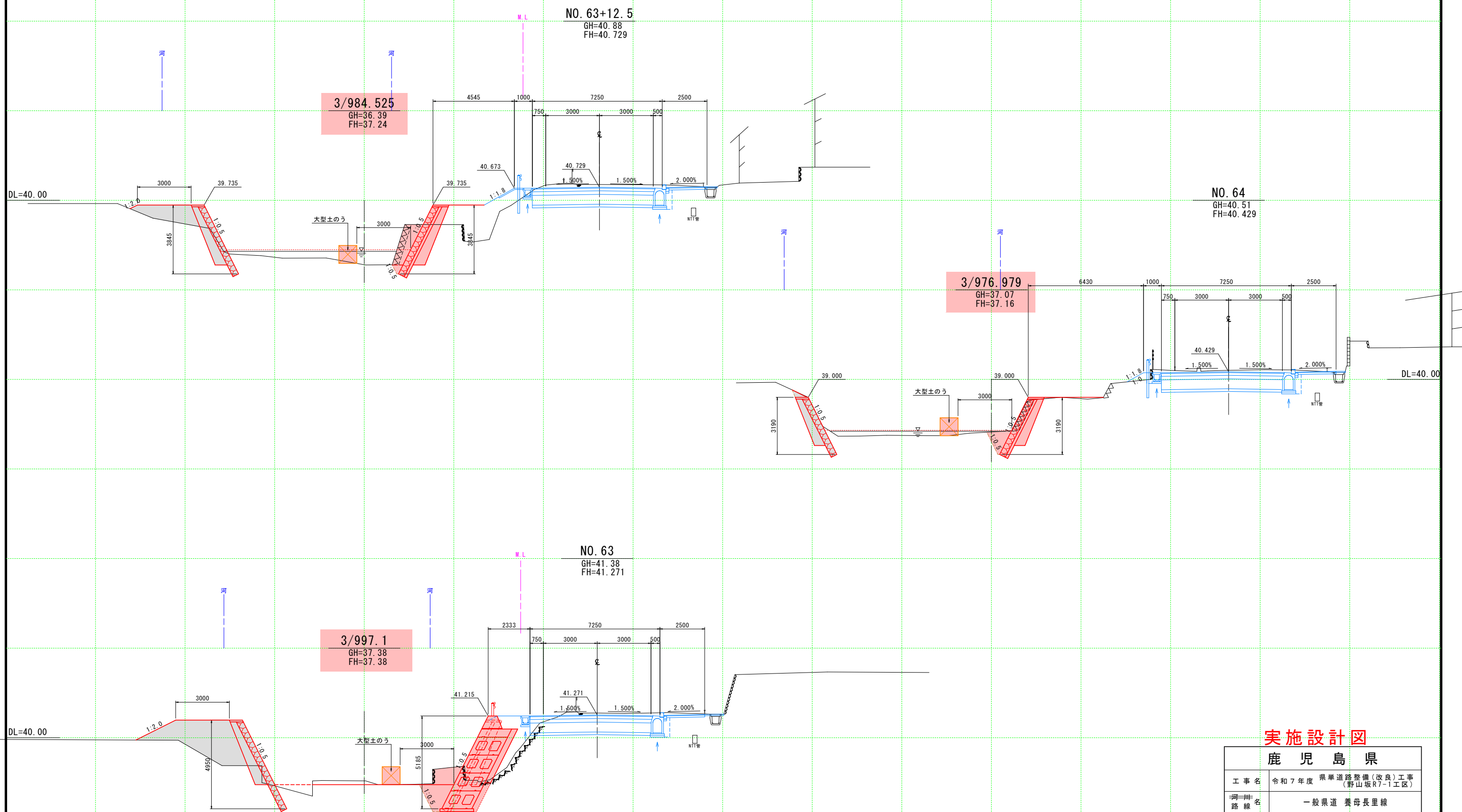


実施設計図

鹿児島県	
工事名	令和7年度 県単道路整備(改良)工事 (野山坡R7-1工区)
河川名 路線	一般県道 養母長里線
工事箇所	日置市東市来町下養母地内
図面種類	河川護岸部 右岸仮締切工参考横断図(1/2)
縮尺	S=1:100
図面番号	全 15 葉 第 14 号

※ 鹿児島県においては梅雨期・台風時(出水期)の河道内工事は原則禁止されている。  
※ 本図面は、左岸工事を先行する場合の参考図として示す。  
※ 大型土のうは右岸工事に流用する。

河川護岸部 右岸仮締切工参考横断図(2/2) S=1:100



実施設計図

鹿児島県	
工事名	令和7年度 県単道路整備(改良)工事 (野山坡R7-1工区)
河川名 路線	一般県道 養母長里線
工事箇所	日置市 東市来町 下養母 地内
図面種類	河川護岸部 右岸仮締切工参考横断図(2/2)
縮尺	S=1:100
図面番号	全 15 葉 第 15 号

※ 鹿児島県においては梅雨期・台風時(出水期)の河道内工事は原則禁止されている。  
※ 本図面は、左岸工事を先行する場合の参考図として示す。  
※ 大型土のうは右岸工事に流用する。